

第1章 まちづくりの将来像・基本理念

住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます

【基本方針-1】

暮らしを自慢できるまち！

【基本方針-2】

教育と子育て環境を誇るまち！

【基本方針-3】

元気と温かい心で支えるまち！

【基本方針-4】

市民の思いを協働でつくるまち！

6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます



H30.10.13 とみやわくわく市民会議資料

本市の大きな特徴として、かつて奥州街道の宿場町として栄えた「しんまち地区」をはじめとする、古き良き富谷を守り、語り継いできた古くからの地域と、自然環境と住環境の調和による独自の魅力によって、全国各地から人が集まってきた新しい地域が融合して出来たまちであるということがあげられます。

将来像の実現に向けて、本市の特徴である多様な“ひと”と“資源”を「活かし」、「守り」、「育み」ながら、新たなまちづくりへと「動き」出します。そして、市民・議会・事業所・行政の協働・協力・連携（「つながり」）を図り、富谷市が市民の「誇り」となるよう「オールとみや」の体制で「新生富谷市」を創造していきます。

2021年～

その実現のためには・・・

「しんまち」地区の活性化し、まちづくりの拠点とする

2020年

その重要な機会として・・・

2020年の「富谷宿」開宿400年記念事業を位置付ける

2018年～2019年

そのプレイベントとして・・・

「富谷宿」街道まつりを開催し、その機運醸成を図る

富谷宿「街道まつり」

□ 基本理念

『富谷宿の過去・現在を未来へ、ふるさと意識の醸成と魅力あるしんまち地区を次世代へ』

富谷宿開宿400年（2020年）をオール富谷・市民みんなで盛り上げるため、未来志向の事業を展開し、次なる100年のまちづくり、ひとづくりに活かしていく

- 【歴史・文化・伝統に親しむ】
- 【交流人口増・一体感醸成】
- 【未来への投資】

□これから進めていくにあたって・・・

- ・わくわく市民会議でのディスカッション
- ・しんまち地区活性化プロジェクトによる「オール富谷」体制の構築
- ・富谷市まちづくり産業交流プラザ「TOMI+」の活用 ※富谷塾など